

ADL 能力回復における効率性とエネルギー充足率の関係性

1. 研究の対象

2017年5月～2019年5月までに公益財団法人脳血管研究所附属美原記念病院において、脳卒中を発症し回復期リハビリテーション病棟に入院された方

2. 研究目的・方法

回復期リハビリテーション病棟では日常生活動作の改善と入院日数の短縮が強く求められています。初発の脳卒中患者が動作能力の改善には、回復期病棟入棟時の年齢、運動障害の程度、日常生活動作能力が影響していると報告されています。一方、栄養エネルギーの充足率と動作能力の改善にかかる期間については十分に検討がなされていません。そこで今回、リハビリと栄養の関連について調査することを目的で、栄養充足者と栄養不足者における日常生活動作能力の改善と期間との関係性について調査し、分析していきます。

回復期リハビリテーション病棟では、入棟時や退院時などにリハビリ担当者が身体機能評価などを行なっています。また、看護師、栄養士が食事喫食量や体重の推移等の栄養評価を行っています。今回の調査は、このデータを用います。方法は、発症前自立していた脳卒中の方で、栄養充足・不足それぞれにおける日常生活動作能力や改善にかかる日数、入院日数について調査し、それぞれのデータを比較します。

これらの研究は、2020年12月～2021年12月の間に実施します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、疾患、身体機能の情報、栄養関連の情報 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 リハビリテーション部

研究責任者 吉田 拓

住 所：群馬県伊勢崎市太田町366

TEL：0270-27-8813 FAX：0270-24-3359